

ナノフロー液体クロマトグラフ「NanoFrontier nLC」



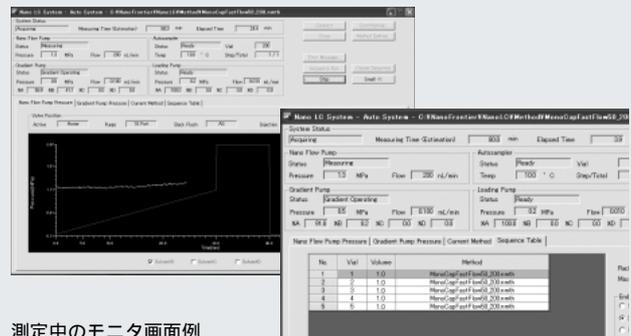
「NanoFrontier nLC」

株式会社日立ハイテクノロジーズは、独自のグラジエント送液技術DEGS(Dual Exchange Gradient System)を採用して、流量200 nL/minで相対標準偏差(RSD)1%以下の高い再現性を実現し、タンパク質の機能や構造を解析するプロテオミクス分野向けの高性能ナノフロー液体クロマトグラフ「NanoFrontier nLC」を2006年4月に発売した。この装置を質量分析計と組み合わせることで、より微量なタンパク質の同定と、多数のサンプルを迅速に処理することが可能となることから、生命現象や病理現象を解明するうえでの重要な分析装置として、バイオ・医療・農学環境分野での利用が期待されている。

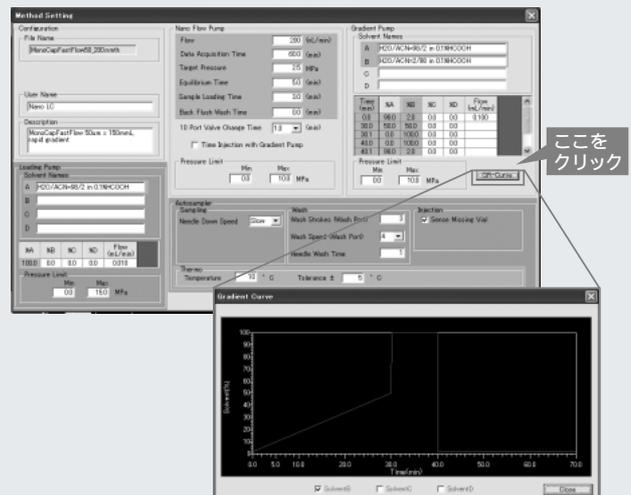
製品の特徴

- (1) 50~250 nL/minのナノ流量域において、安定した送液と高い溶離液混合比再現性を実現し、各社の質量分析計と組み合わせて、高感度・高精度の分析が可能
- (2) ナノフロー液体クロマトグラフに特化した専用ソフトウェアにより、専門家以外のユーザーでも操作が容易
- (3) オートサンプラによる自動運転で、多数のサンプルを迅速に処理
- (4) システムの稼働状況を常時監視する機能が、信頼性の高い分析結果を維持(システムステータス, 圧力モニタ, サンプル温度モニタ, 溶剤リーク検出, 圧力・分析条件ログ, 消耗品ログ, エラーログ)
- (5) 最大4種類までの溶離液供給が可能のため、分析条件の検討や流路の洗浄が容易
- (6) 消耗品交換などのユーザーメンテナンスは、すべて装置前面から作業可能
- (7) 貴重なサンプルを損失しない全量注入方式
また、デモンストレーション, 技術サポート, コンサ

ルティング対応を包括した専門スタッフが、ユーザー要求に迅速かつ的確な対応を図る体制が構築されている。



測定中のモニタ画面例



分析条件設定画面例

【問い合わせ先】
株式会社日立ハイテクノロジーズ
バイオシステム営業本部 国内営業部 先端バイオ課
担当：足立
〒105-8717 東京都港区西新橋一丁目24番14号
TEL：03-3504-7211
<http://www.hitachi-hitec.com/science/>